

## 特別支援教育って特別なの？

うちのお兄ちゃん（長男）はちょっと個性的な子。  
人づきあいが苦手で、こだわりが強く、整理整頓ができません。でも、記憶力  
抜群でそれにすごく素直で優しい。

世間ではこんな子（人）のことを「アスペルガー症候群」と呼ぶそうです。  
学校では「特別支援」を受けているのですが、何が特別なの？

「授業に集中出来るように声掛けしてます」

「ノートが書けないのでプリントにしています」

これって特別なこと？

でも、お兄ちゃんのカバンの中はいつもプリントでぐちゃぐちゃ、ノートもぐ  
ちゃぐちゃ。

最後には何が何だか分からなくなってパニック。

声を掛けたり、プリント作るのは「特別支援教育」じゃなくて「普通の教育」じ  
ゃないのかな。

「特別支援」っていうのは、ぐちゃぐちゃにならないようにしてやることじゃな  
いのかな…と私は思う。

ぐちゃぐちゃにならない方法を見つけて、いっしょにがんばって、ぐちゃぐちゃ  
にならずにすんだ時、

「やった！僕できるやん」って自信つけて

「次もこのやり方でやってみよう」とひとつ賢くなる。

これが、特別「支援」じゃないのかな。

そこらへんが学校の先生には伝わらない。

一生懸命伝えると、「過保護な親だ」と言われる。

あげくの果てに「モンスターペアレンツ」扱い。

でも、私はお兄ちゃんの母になれて、本当によかった。

言葉では表現できないけど、これほどやりがいのある子育てはないと思う。

みんな「自分は普通」でお兄ちゃんのような子を「変わった子」だと思ってるけど、  
そんなのたまたま多数決でそうなるだけなんじゃないかな。

お兄ちゃんのような子がいっぱいの世界なら、みんなのほうが「変わった子」な  
んだよ。

みんなだっていつ「少数派」になるか分からない。

「特別支援教育」って言葉…なんかあんまり好きじゃない。

「特別支援教育」はスポーツ出来る子が「特待生」になって、得意なことをがん  
ばれるように支援するのと同じじゃないのかな。

でも今はまだ残念ながら「出来ないから支援する教育」なんです。

得意なことは「ちゃんとやれてるから」って伸ばしてはもらえません。

それを望むと「過保護でよくばりな親」なんですって。

私はお兄ちゃんが

「生まれてきてよかった」

「生きててよかった」って自分の人生を楽し  
んで生きてくれるようになること、

これがこの子の子育てのゴールだと思ってい  
ます。

そのために、「私自身が自分の人生を楽しむこと」

これが私のテーマです



（ある主婦のブログより）